

【町営牧場の統合について】

目的

持続的な町営牧場の運営

芽室町の酪農・畜産業を維持するための社会的インフラとしての機能を維持する。
町内乳用牛飼養農家の預託希望に応じた規模の公共牧場の運営を維持する。

現状

新嵐山牧場の施設・作業機械の老朽化による機能低下が著しい状況である。
2か所に牧場があることにより、設備・作業機械の更新費用が増大になる。
牧場運営に係る固定費が高止まりしている。

課題

新嵐山牧場の施設更新・修繕に係る費用の削減が必要である。
牧場施設・作業機械の集約により更新・修繕費用を圧縮する必要がある。

解決方策

町営牧場の統合

新嵐山牧場における預託牛の受入れを中止し、町営牧場としての機能を光勇牧場に統合し、効率的かつ持続的な町営牧場の運営を維持する。

統合により期待される効果

管理委託料をはじめとして、牧場運営にかかる費用を圧縮することができる。

草地維持に係る費用	R 7 : 19,153千円	→	R 8 : 11,567千円	△7,586千円
家畜管理に係る費用	R 7 : 3,872千円	→	R 8 : 3,518千円	△354千円
光熱水費・通信に係る費用	R 7 : 1,016千円	→	R 8 : 812千円	△204千円
人件費	R 7 : 21,845千円	→	R 8 : 15,572千円	△6,273千円

管理委託料ベース	R 7 : 40,058千円	→	R 8 : 約31,000千円
	約9,000千円減額		